



# HANDY CAD MARK II

# Wire Application

ワイヤーアプリケーション

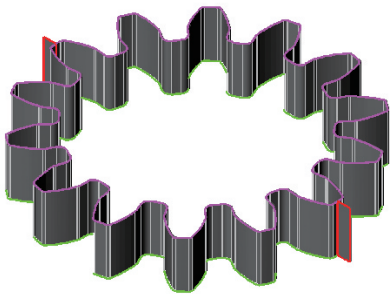
## 新感覚！フレキシブルなワイヤーCAMシステム

ワイヤーアプリケーションは、独自のステップ概念を用いて、高度なカット手順をシンプルに定義できる、まったく新しい概念のワイヤーCAMシステムです。

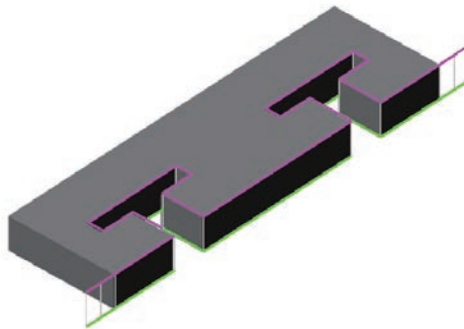
- ▶ プロセスツリーで工程・定義の確認が容易にでき、ツールバスによるシミュレーションが可能です。
- ▶ 多彩な加工定義コマンドを装備しており、コマンド毎にカットパターンを保存・選択する事により入力操作を軽減します。
- ▶ 自動コーナー処理により、図形修正の手間を大幅削減できます。
- ▶ 任意形状のオフセット型コアレス加工に対応し、より高精度な加工が可能になります。
- ▶ 上面形状・下面形状の自動関連付けにより、面倒な上下異形状も簡単な操作で実現できます。
- ▶ NC生成時に機械種別を選択して目的のデータを作成することができます。

**加工** .....

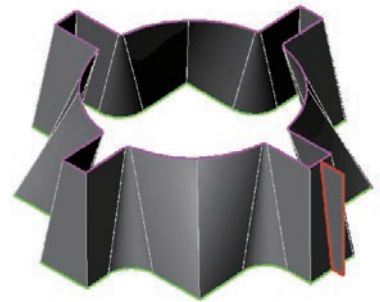
ダイ・パンチ加工



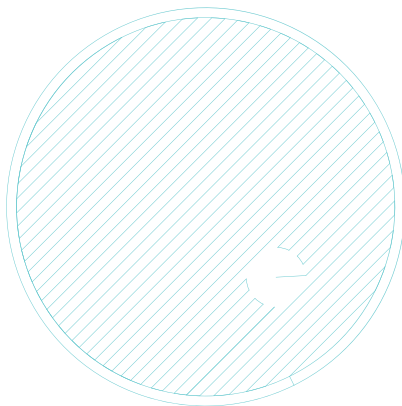
オープン加工



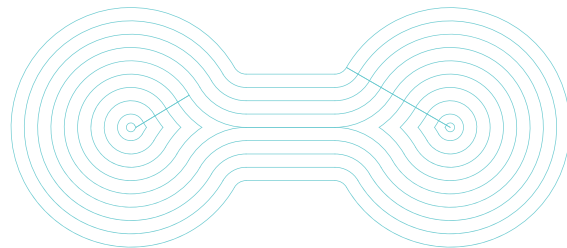
上下異形状



コアレス(ハッチング)



コアレス(オフセット)

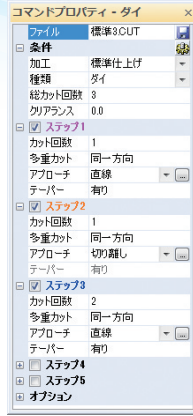


### 基本仕様

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●加工定義 ダイ、パンチ、オープン</li> <li>●加工条件 材質、板厚、ワイヤー径は任意に指定可能 カット回数最大16回</li> <li>●補助機能 コアレス、テーバー(全周・部分)指定、上下形状指定が可能<br/>コーナー処理(角逃げ、丸逃げ、丸め、反転円弧)の指定が可能<br/>プロパティ、再定義による定義の編集が可能</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●配置 平行、格子、回転、対称に工程配置可能(削除機能あり)<br/>※対称配置した場合、アップカット/ダウンカットが変わります</li> <li>●ポスト関連 Gコード、座標のモータル管理、各種有効桁数の指定が可能<br/>プログラム表現(絶対値・増分値)がメインプログラムに対して指定可能<br/>円弧命令: IJ指定、R指定、IJ/R自動切換え<br/>ワーク座標を設定可能</li> </ul> |
|--|--|

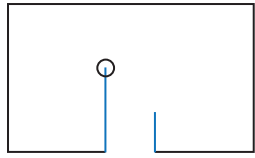
## ■ステップ

各定義のコマンドプロパティステップ項目を設定する事により、フレキシブルにカットパターンを指定できます。ステップ項目はカット回数、アプローチの種類、テーパの有り/無しなどの指定が可能です。また、アプローチの種類によって「切り残し」、「切り離し」、「仕上げ」に区分けされ、最適な順序でNCが作成されます。

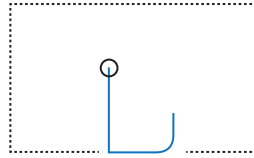


## ■アプローチの指定

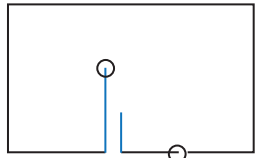
アプローチまたはアプローチ点における逃げを要素として描く必要はありません。任意に指定した開始点（下穴位置）からアプローチ経路を生成します。また、定義後にアプローチ形状・パラメータを変更する事ができます。切り離し経路は、ファーストカットのアプローチに従って経路を生成します。



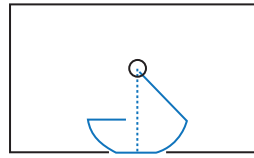
直線



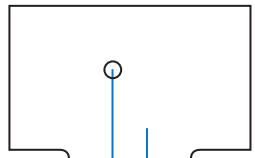
切り離し



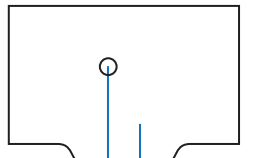
直線 + 切り離し



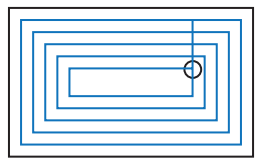
円弧



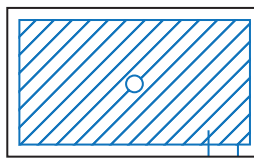
角逃げ



丸逃げ



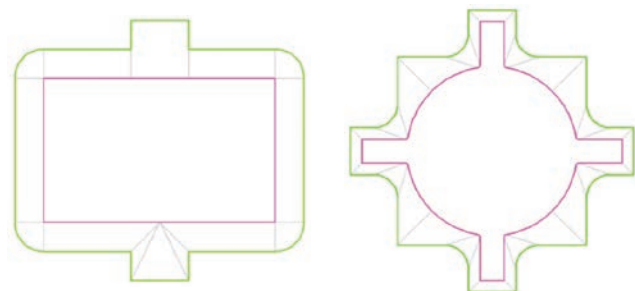
コアレス (オフセット)



コアレス (ハッチング)

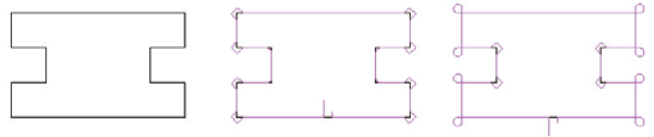
## ■上下形状指定

プログラム面、UV プログラム面の関連ポイントを結んで指定します。点-要素、要素-要素など点・線・円の全てのタイプ同士を指定する事ができます。NC 生成時に機械設定の UV 命令の仕様と近似トレランスに従って、自動的に線分近似した経路を生成することができます。



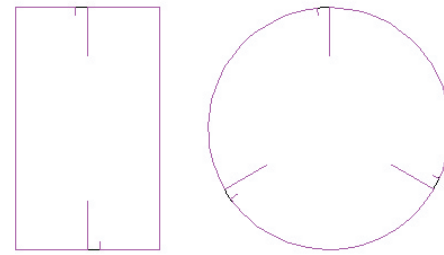
## ■コーナー処理の指定

基本的なコーナー処理は、内側/外側に対して指定し、経路生成時に付加します。これらのコーナー処理に関するパラメータも定義後に変更する事が可能です。



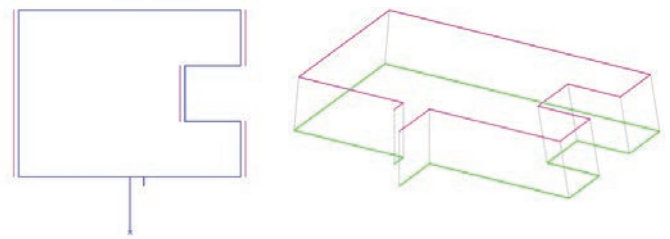
## ■複数の切り残しを指定可能

1つの形状について、複数の切り残し箇所を指定する事ができます。



## ■テーパ指定が簡単

テーパをループ全体、または各要素に指定する事ができます。定義後はあらかじめ設定したUVプログラム面までの厚みを考慮して表示します。テーパ指定において、ループ周回方向、径補正方向、テーパ方向を意識せず、UV プログラム面への傾斜をイメージして指定する事ができます。



## 基本仕様

- 検査機能** テーパー角度の有効範囲設定および検査機能  
最大円弧半径オーバー、  
最短円弧長未満のデータを近似データに変換
- NC生成補助** NC生成時に作業指示書の作成可能（下穴座標を出力）
- マウス認識** 要素 / 座標の同時入力  
ナビゲーション、ドラッキング、ラバーバンドによる入力補助
- サーチループ認識** 連続要素自動認識、1クリックによる外周認識、外周・複数内周認識、対角点指定による複数外周認識が可能  
マスク設定による認識条件設定も可能  
認識および演算に関して、要素数、ループ数共に制限無し（コンピュータ環境に依存）